

たちまち、ゲノム編集

～未来の衣食住を考える～

2050年、社会はどんなことになっているのでしょうか。今高校生みなさんが、40代後半の未来です。ロボットが人間の代わりに働いてくれるようになる？宇宙への旅行や移住が簡単にできるようになる？はたまた環境破壊がますます進んで、新たな感染症が広まっている？2020年のノーベル化学賞で話題にもなった「ゲノム編集」という新しい技術も、これから30年後の未来を考えるととっかかりになるかもしれません。ニュースなんかでたまに耳にするこの技術、いまい実態がつかめていないことも。ゲノム編集技術を使うと、理想の食べ物や生き物を自由自在に作り出せるって本当？でもそれって本当に安全なの？環境や社会への影響は？この分野で活躍する研究者の話を手がかりに、みんなで考えてみませんか。たった数10年前、スマホやケータイなんてドラえもんの世界にしかありませんでした。これから数10年で、さらに社会は大きく変わってでしょう。よりよい未来をつくるために、たちまち、ゲノム編集を考えることから始めてみませんか。

日時 2021年 5月9日 (日) 13:30-16:00 (オンライン入室 13:00-)

開催形式 オンライン (Zoom)

プログラム 第1部：ミニ講義

13:30- 「ゲノム編集」 奥原 先生

第2部：ワークショップ

13:45- みんなで考えてみる時間①

13:55- 中空先生からのコメント

14:05- みんなで考えてみる時間②

14:15- 西原先生からコメント

14:25- 休憩

14:35- ゲストからの科学的な説明 (西原先生、奥原先生)

14:45- みんなで考えてみる時間③

15:00- みんなで考えてみる時間④

15:20- チーム発表

15:50- 奥原先生からのコメント

16:00 ワークショップ終了

講師 奥原 啓輔 (広島大学 ゲノム編集イノベーションセンター 客員教授/プラチナバイオ 代表取締役CEO)
西原 禎文 (広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授)

司会 中空 萌 (広島大学 大学院人間社会科学研究科 講師)

定員 30人 (高校生以上ならどなたでも)

*事前申し込み制

*応募者多数の場合は、抽選にて参加者を決定させていただくことがあります。ご了承ください。

参加申込み URLまたはQRコードから (<https://bit.ly/3mE2ELE>)

主催 広島大学 (学術・社会連携室URA部門)

共催 東広島イノベーションラボ ミライノ+ / COI-NEXT バイオDX産学共創拠点

後援 日本化学会中国四国支部

協力 グローバルサイエンスキャンパス広島

お問い合わせ先 ura@office.hiroshima-u.ac.jp



▲参加申込み



▲イベント詳細

「たちまち」とは、広島弁で「とりあえず」という意味です